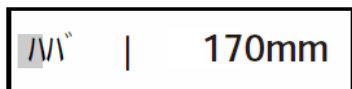


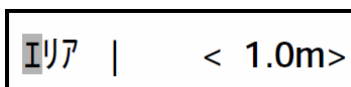
CXシリーズのエリア機能：シートの試し送りの方法

カッティング中にロールシートを急激に引っ張ってしまうことの無いように、あらかじめ、「試し送り」を行います。この作業を行うことでモーターエラーや位置ずれを防いだり、シートが曲がってセットされていないかの確認が行えます。「エリア」機能を使用し、必要な分の試し送りを簡単に行うことができます。

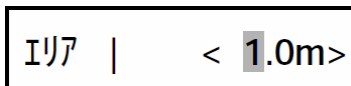
- 1) ロールシートをセットして出力可能な状態にすると、以下の画面が表示されます。



- 2) 点滅カーソルが右側に移動するのを確認してから、ダイヤルを回して右の内容を表示し、[MENU/PARAM]キーを押します。



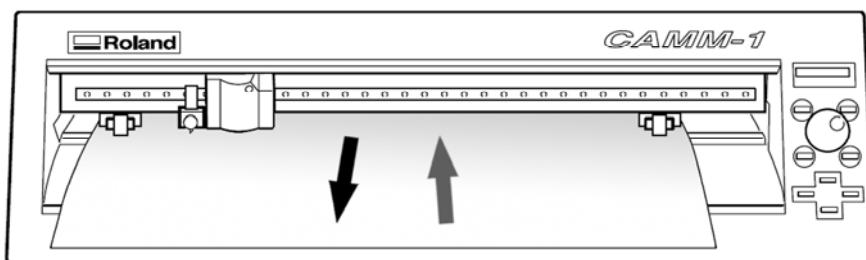
- 3) ダイヤルを回して、カッティングに必要なシートの長さにします。目的の値になったら、[ENTER]キーを押します。



- 4) 以下の内容が表示されたら再度[ENTER]キーを押します。

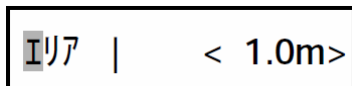


- 5) 設定した長さだけ一旦前方に送られ、すぐに引き戻されます。



※必要なシートの長さより0.2m程度長めに設定します

- 7) [MENU]キーを押すと以下のように元の画面に戻ります。



- ★ ピンチローラからシートが外れたときは[ENTER]キーを押して動作を停止します。その後シートを再セットしてください。